

平成 15 年度常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成 15 年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会は、平成 15 年 11 月 28 日(金)に RIT25 において開
催された。

この検討会には、試験場関係者 26 名、委託関係者 23
名ほか、計 55 名の参集を得て、除草剤 5 薬剤(16 点)、

生育調節剤 7 薬剤(35 点)について、試験成績の報告と検
討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成 15 年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・mL<水量L>/10a ;処理方法等	判 定	内 容
1. AH-01 液 (S)-2-アミノ-4-[ヒドロキシ(メチル)オスフィニル]ブタン 酸ナトリウム塩 10.5% [明治製菓]	カンキツ	適用性 継 続	和歌山果園試 愛媛果試 佐賀果試 (3)	[一年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 300mL<100, 150mL> 500mL<100L> ; 茎葉処理 対)ハースタ液剤 300mL<100L>	実・ 継	実) [カンキツ: 雑草全般] ・春～夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a>. ・茎葉処理. 継) ・薬害試験の継続.
		適用性 継 続	静岡柑試 山口大島かん試 熊本農研果樹 (3)	[多年生雑草] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 500mL<100, 150L> 1000mL<100L> ; 茎葉処理 対)ハースタ液剤 500mL<100L>		
		薬害 新 規	鹿児島大学 広島果樹常緑研 (2)	[薬害試験] 春期→初夏→夏期 ; 2000mL→2000mL→2000mL <100L> ; 土壌処理 夏期 ; 5000mL<100L> ; 土壌処理 春期または夏期 ; 100倍 ; 樹幹処理		
2. Hoe-866 液 グリホサート 18.5% [ハイエム クロップ サイエンス]	サシヨウ	適用性 新 規	和歌山果園試 (1)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 300, 500, 750mL<100L> ; 茎葉処理	継	継) ・効果、薬害の確認.

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
3. MON-96A 液 ク ^ラ リホサートアンモニウム塩 41% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継 続	果樹研カンキツ(口之 津) 長崎果試 熊本農研天草 (3)	[マルハ ^ツ ツタサ] ①6月 発生揃期(草丈15~20cm) ②9月 草丈60~80cm ; 2000mL<50L> ③6月 発生揃期→9月 発生揃期 ; 2000mL→2000mL<50L> ; 茎葉処理	実	前年通り 実) [カンキツ: 雑草全般] ・ 春~夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象; 250~500mL/10a 多年生雑草対象; 500~1000mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用)、 50~100L/10a>. スギ ^ナ 対象; 1500~2000mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使用)>. マルハ ^ツ ツタサ対象; 2000mL/10a <50L/10a>. 1回または2回処理. ・ 茎葉処理. ・ 秋冬期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 250~500mL/10a <25~50L/ 10a(専用ノズル使用)、50~100L /10a>. ・ 茎葉処理.
4. ターバ ^シ ル 水和 ターバ ^シ ル 80% [デ ^ュ ボ ^ン]	カンキツ	適用性 継 続	山口萩かん試 香川農試府中 徳島果試 (3)	[雑草全般] ①雑草発生前 ; 200, 300g<150L> ; 土壌処理 ②雑草生育期 ; 200, 300g<200L> (展着剤加用) ; 茎葉処理	実 継	実) [カンキツ: 一年生雑草] ・ 雑草発生前または雑草生育期. ・ 200~300g<150~200L>. ・ 土壌処理または茎葉処理. 継) ・ 薬害の確認.
5. MON-001 液 ク ^ラ リホサートカリウム塩 52% [日産化学工業]	カンキツ	適用性 継 続 (14年度)	熊本農研果樹 (1)	[一年生雑草全般] 春期および夏期 雑草生育期 (草丈 30cm 以下) ; 250mL<25, 50(専用ノズル), 100L>, 500mL<50L(専用ノズル)> ; 茎葉処理 対) 三共の草枯らし 250mL<25L(専用ノズル)>	実 継	前年通り ・ 実) [カンキツ: 雑草全般] ・ 春~夏期、 雑草生育期(草丈30cm以下). ・ 一年生雑草対象; 250~500mL/10a 多年生雑草対象; 500~1000mL/10a <25~50L/10a(専用ノズル使 用)、50~100L/10a>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 春期処理における効果、薬害の 確認. ・ スギ ^ナ に対する効果の確認. ・ 薬害試験の継続.

B. 生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判定	内 容
1. KC-1129 水溶 蟻酸カルシウム 98.3% [晃栄化学工業]	ウンシュウミ カン	適用性 新規	<静岡柑試> <山口大島かん試> <愛媛果試南予> <熊本農研果樹> (4)	[浮皮軽減] 満開後30~60日の間または退色 初期より 3回散布 ; 200, 500, 1000倍 ; 立木全面散布または枝別散布	—	
2. NB-34 液 りん酸 10%, 加里 6%, 苦土 1%, マンガン 0.2%, ホリ素 1%, 鉄 0.1%, 銅 0.05%, 亜鉛 0.05%, モリブデン 0.1%, 特殊海藻カーン [日本曹達]	ヒワ	作用性 継続	長崎果試 (1)	[糖度向上、着色促進] 生育中期(開花約60~80日後) 7~10日間隔 3回散布 ; 1000倍 ; 散布	—	
3. RIC-1 液 海藻ホシネット [ロイヤル インダストリーズ]	ウンシュウミ カン	作用性 継続	<鹿児島大学> (1)	[品質向上、樹勢回復、連年施用 による表・裏年の較差の軽減] ① 2~3月; 1L; 土壌処理→5 月; 3000倍; 葉面散布→12月; 1000 倍; 葉面散布(3回処理) ② 2~3月; 1000倍→5月; 3000倍→ 12月; 1000倍; いずれも葉面散布 (3回処理)	—	
	ウンシュウミ カン	適用性 継続	<静岡柑試> <和歌山果園試> <広島果樹常緑研> <山口大島かん試> <愛媛果試> <長崎果試> <熊本農研天草> (7)	[品質向上、樹勢回復、連年施用 による表・裏年の較差の軽減] ① 2~3月; 1L; 土壌処理→5 月; 3000倍; 葉面散布→12月; 1000 倍; 葉面散布(3回処理) ② 2~3月; 1000倍→5月; 3000倍→ 12月; 1000倍; いずれも葉面散布 (3回処理)		
	不知火	適用性 継続	<愛媛果試南予> <長崎果試> <宮崎総農試亜熱 帯> (3)	[樹勢、品質、収量に及ぼす影響] ① 2~3月; 1L; 土壌処理→5, 6, 7, 8 月中旬; 3000倍; 葉面散布(5回処 理) ② 2月; 1000倍→3, 4, 5, 6, 7, 8月 中旬; 3000倍; 葉面散布(7回処理)		
4. AKD-8083 EW MCPB 20% [アグロカネショウ]	ウンシュウミ カン	適用性 新規	果樹研カンキツ(口之 津) 愛知農総試 佐賀果試 大分柑試 宮崎総農試 (5)	[夏秋梢伸長抑制] ① 夏秋梢発芽時→その20日後 (2回処理) ② 夏秋梢発芽時→その20日後→ その20日後(3回処理) ; 2000, 3000倍 ; 立木全面散布または枝別散布	実・ 継	実) [ウンシュウミカン: 夏秋梢発 生抑制] ・ 新梢萌芽直前. ・ 1000~3000倍 2~3回散布. ・ 立木全面散布または枝別散布. (継) ・ 葉害の発生条件について.

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量L>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
5. JFR-010 水溶 ジベレリン 5% [JFR-010協議会]	伊予柑	適用性 新 規	山口萩かん試 <愛媛果試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布または枝別散布	—	
	不知火	適用性 新 規	熊本農研果樹 <宮崎総農試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布または枝別散布		
	はるみ	適用性 新 規	広島果樹柑橘研 <愛媛果試> (2)	[花芽抑制による樹勢維持] 収穫直後～収穫約1ヶ月後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布または枝別散布		
6. HOK-813 乳 MCPAチオエチル 20%	ウンシュウミ カン	適用性	佐賀果試 (1)	[夏秋梢伸長抑制] 発芽直前 ; 1500, 2000倍 ; 立木全面散布 対) フィカールン乳剤 1000倍	—	

C. 平成14年度 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-8083 EW MCPB 20% [アケボノショウ]	日向夏	適用性 新 規	静岡柑試伊豆 宮崎農試亜熱帯 (2)	[冬期落果防止] 11月～12月 (1回処理) ; 3000倍<300～400L> ; 立木全面散布または枝別散布 対) マデック乳剤 3000倍	実・ 継	実) [カンキツ(日向夏、サマーフレッシュ、セ ミノール、カラ、ハッサク): 冬期落果防止] ・ 着色期～収穫20日前1～2回散布. ・ 2000～3000倍 <300～400L/10a>. ・ 立木全面散布. 継) ・ 効果の確認.
	サマーフレ ッシュ	適用性 新 規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ; 2000倍<300～400L> ; 立木全面散布または枝別散布		
	セミノール	適用性 新 規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ; 2000倍<300～400L> ; 立木全面散布または枝別散布		
	カラ	適用性 新 規	三重紀南果樹研 (1)	[冬期落果防止] 11月及び2月 (2回処理) ; 2000倍<300～400L> ; 立木全面散布または枝別散布		
	ハッサク	適用性 継 続	徳島果試 (1)	[冬期落果防止] 11月中旬及び12月下旬～1月上 中旬の2回散布 ; 3000倍→3000倍, 2000倍→ 2000倍 ; 立木全面または枝別散布 対) マデック乳剤 3000倍→3000倍		

C. 平成14年度 生育調節剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g/mL<水量>/10a ; 処理方法等	判 定	内 容
2. RIC-1 海藻モシゴネット	ウシユウ ミカン 液	作用性 継 続	鹿児島大学 (1)	[連年施用による隔年結果の格 差の減少] 2~3月;原液1L;土壌処理→5月; 3000倍;葉面散布→12月;1000 倍;葉面散布 2~3月;1000倍;葉面散布→5月; 3000倍;葉面散布→12月;1000 倍;葉面散布	継	継) ・効果の確認.
		適用性 継 続	静岡柑試 和歌山果園試 広島県樹常緑研 山口大島柑試 愛媛県試 長崎県試 熊本農研天草 (7)	[連年施用による隔年結果の格 差の減少] 2~3月;原液1L;土壌処理→5月; 3000倍;葉面散布→12月;1000 倍;葉面散布 2~3月;1000倍;葉面散布→5月; 3000倍;葉面散布→12月;1000 倍;葉面散布		
	不知火	適用性 継 続	愛媛県試南予 長崎県試 熊本農研天草 宮崎総農試亜熱帯 (4)	[樹勢、品質、収量への影響] 2~3月;1L;灌水処理(1回)→5~ 8月に1ヶ月毎;3000倍;葉面散 布(4回) 2月;1000倍→3~8月に1ヶ月毎; 3000倍;葉面散布(7回)	実・ 継	実) [不知火: 樹勢強化] ・2~3月; 1L/10a; 灌水処理(1回 処理)→5~8月に1ヶ月毎; 3000 倍; 葉面散布(4回処理). ・2月; 1000倍→3~8月に1ヶ月毎 ; 3000倍; 葉面散布(7回処理). 注) 3~4年間連用して施用する. 継) ・連年処理での効果の確認.
3. JFR-010 ジベレリン 5% [JFR-010協議会]	極早生 ウシユウ 水溶	適用性 継 続	和歌山果園試 広島県樹常緑研宮 宮崎総農試 (3)	[花芽抑制による樹勢維持] 11月中旬~12月下旬(収穫後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布、枝別散布 対)ジベレリン水溶剤 25ppm	実	実) [ウシユウミカン: 花芽抑制 による樹勢維持] ・収穫直後~収穫約2ヶ月後. ・25~50ppm. ・立木全面散布または枝別散布.
	早生ウ シユウ	適用性 継 続	和歌山果園試 山口大島柑試 熊本農研果樹 (3)	[花芽抑制による樹勢維持] 11月中旬~12月下旬(収穫後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布、枝別散布 対)ジベレリン水溶剤 25ppm		
	普通ウ シユウ	適用性 継 続	静岡柑試 山口大島柑試 徳島県試 (3)	[花芽抑制による樹勢維持] 12月~1月(収穫後) ; 25, 50ppm ; 樹別散布、枝別散布 対)ジベレリン水溶剤 25ppm		
4. HOK-813 MCPAチオエチル 20% [北興化学工業]	乳 ハッサク	適用性 継 続	徳島県試 (1)	[へた落ち防止] ①収穫10日前 ②収穫20日前 ; 4000, 2000倍 ; 立木全面散布 対) マテック乳剤 収穫20日前 3000倍	実	実) [ハッサク: へた落ち防止] ・収穫20~10日前1回散布. ・2000~4000倍 <300~400L/10a>. ・立木全面散布.